

## 巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00061862">http://hdl.handle.net/2297/00061862</a>

# 巻 頭 言

学校長 中澤 宏一

本校は、2019年4月に文部科学省WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業拠点校の指定を受け、3年計画で本事業を展開しています。

本事業は、社会の大きな変革としてSociety5.0が訪れようとする中で、我が国の新たな社会を牽引する人材の育成が求められることをふまえ、新たな時代に向けた学びの変革の一つ、さらには、文理両方を学ぶ高大接続改革にも寄与するものと考えております。

WWLコンソーシアムは、高度かつ多様な内容を、生徒個人の興味・関心・特性等に応じて履修可能とする高校生の学習プログラム開発と実践を担うことが期待されており、将来的には、すべての高校生がオンライン・オフラインで参加することを可能にする仕組みづくりを目指しています。

本校では、Society5.0において共通して求められる力

- ①文章や情報を正確に読み解き、対話する力
- ②科学的に思考・吟味し活用する力
- ③価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究心 等

を基盤として、将来、新たな社会を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベーティブなグローバル人材の育成に努めています。国内外の高等学校・大学・企業・国際機関等の協力を得ながら、新たな時代に向けた学びの変革を実現してまいります。

また、テーマを通じた高校生国際会議の開催等を通じて、本校生以外にも高度な学びを提供する仕組み「アドバンスト・ラーニング・ネットワーク」（ALネットワーク）の拠点校として研究を進めてまいります。

以上のような思いをもって研究をスタートさせましたが、昨年度の終盤から今年度の現在に至るまで、新型コロナウイルス感染症の拡大により計画していたことに取り組みず、予定していた活動を行えずの状況が続いています。感染拡大を言い訳にはならないことを重々承知していますが、オンラインに比重をおいた進め方の難しさに直面しています。

そのような中でも、「やれる範囲で進めよう。」「オンラインの良さを生かした方法を考えよう。」「コロナ禍でこそその取り組みを紹介しよう。」「持続可能な方法を見つけ出そう。」等々をキーワードにして、まさに手探りの実践に取り組み、その結果を何とか形にすることができました。そのため、稚拙な研究になっていることは否めません。是非、皆様からの忌憚のないご意見やご批判を頂戴できれば幸いです。それが、今後の道標になります。どうぞ宜しくお願い致します。